

環境への影響把握を

三重中央開発 伊賀に処分場で知事

県は二十八日、廃棄物処理会社「三重中央開発」が伊賀市予野で計画している管理型最終処分場の増設に対し、県環境影響評価条例に基づき知事意見を出した。県庁や県伊賀庁舎などで閲覧できる。

県によると、同社は既に稼働している管理型最終処分場の増設を計画。三月下

旬に環境影響評価の方法書を県に提出していた。埋め立て地は約一九・五畝で、約六百七十六万立方メートルの容量がある。

知事意見は「既存の文献や類似の事例などを参考に環境への影響を把握すること」と要請。「環境影響の回避や低減を優先的に検討すべき。代償措置を優先的

に検討することがないように」と求めた。

災害による土砂の流出が想定されるとし、安全性を確保した設計とするよう要請。地下水への影響を調べる観測井戸を適切に設置することや、景観面での調査に名阪国道からの眺望を追加することも求めた。